

「第3期 MURC アクセラレータ LEAP OVER」 審査結果発表

最優秀賞は 株式会社クアンド(北九州市)
「現場向特化型 Web/AI コミュニケーションシステム:SynQ(シンク)」に決定

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:村林 聡、以下、MURC)は、スタートアップ、大企業・地域中核企業、自治体と共に持続可能な地域社会の実現を目指す PoC 型のアクセラレータプログラム「MURC アクセラレータ LEAP OVER」を実施しています。その最終成果発表会として、2月10日(月)第3期採択企業6社(および特別枠1社)を参加対象とする“第3期 MURC アクセラレータ Supported by 三菱電機株式会社、三谷産業株式会社 LEAP DAY ”を開催し、最優秀賞を決定いたしました。



左から:佐伯氏(クアンド社 CFO)、村林(MURC 代表取締役社長)、下岡氏(クアンド社 CEO)

■ 株式会社クアンド(北九州市)が、最優秀賞を受賞

持続可能な地域社会をビジネスで実現すべく、社会インフラ(建設業)やコミュニティ領域で事業化・拡大を目指す6社が、パートナー企業・協力自治体らと共に取り組んだ4ヵ月にわたるプログラムや実証実験の成果、今後のビジネスプランを発表し、主に下記4つの観点から審査が行なわれました。

- ① 社会的インパクトの大きさ(社会/業界を、どのように、どの程度変えるか)
- ② 市場の魅力度(市場規模、ニーズの強さ)
- ③ 経営者・チームの魅力
- ④ サービス・商品の完成度(プログラム期間中の成長度)

厳正なる審査の結果、建設現場のコミュニケーションの効率化が建設業界に与えるインパクトの可能性と、4ヵ月のプログラム期間中にパートナー企業とPoCに取り組み、建設現場におけるコミュニケーションのニーズを拾い上げたサービス開発を進めてきた成長度等が評価され、株式会社クアンド(北九州市)が最優秀賞を受賞しました。

■ 登壇企業(ファイナリスト)一覧

【建設業分野(Con-Tech)】

◇ 株式会社エスイフォー／ロボットの無人遠隔操作技術

プログラム成果:自治体とのプロジェクトや複数の実証を通じて、ビジョンの実現に向けたステップを明確化

<https://www.se4.space/>

◇ 株式会社クアンド／現場向特化型 Web/AI コミュニケーションシステム

プログラム成果:ハード・ソフト・現場と全方位に強みを活かし、コミュニケーションツールの有用性を実証

<http://quando.jp/>

◇ 株式会社適正地盤構造設計／設計人材不足解消に向けた木造住宅設計AI化

プログラム成果:事業計画のブラッシュアップ、構造計算の必要性の認知度向上

<https://tekiseijiban.jp/>

◇ 株式会社フォトラクション／建築・土木の生産支援クラウド

プログラム成果:自治体・民間との複数の PoC を通じて、ワンストップツールの効果を実証

<https://www.photoruction.com/corp/>

【コミュニティ分野】

◇ 株式会社マモル／いじめを未然に防ぐシステム「マモル」

プログラム成果:13 自治体との対話やアプリ B 版開発、共同研究を経て、課題とロードマップを明確化

<https://mamor.jp/>

◇ 株式会社ミツカリ／ピープルアナリティクスによる最適人事配置

プログラム成果:性格全量データを用いた実証と 10 社以上のヒアリングを通じ、新規事業チームモデルを開発

<https://mitsucari.com/>

<StartupGo!Go! 「LEAP OVER 賞」受賞 特別登壇枠>

◇ patternstorage／アパレルの縫製仕様書が簡単に作れるクラウドサービス

プログラム成果:プログラムを通じてデジタル化が進む業界知見を獲得、事業計画をブラッシュアップ

<https://patternstorage.com/>

※ 最終成果発表会の詳細は、添付の【参考資料】をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ】

三菱 UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

ソーシャルインパクト・パートナーシップ事業部 LEAP OVER

〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2 オランダヒルズ森タワー

E-mail : leapover-accelerator@murc.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

コーポレート・コミュニケーション室 廣瀬・杉本 TEL : 03-6733-1005 E-mail : info@murc.jp

【参考資料】“第3期 MURC アクセラレータ Supported by 三菱電機株式会社、三谷産業株式会社 LEAP DAY” 開催報告

- “第3期 MURC アクセラレータ Supported by 三菱電機株式会社、三谷産業株式会社 LEAP DAY”概要
“LEAP DAY”は、アクセラレータプログラム「MURC アクセラレータ LEAP OVER」を通じ、2019年10月から4ヶ月にわたって伴走してきたスタートアップの最終成果発表の場です。第3期となる本年は、パートナー企業2社^{※1}、パートナー11自治体^{※2}、VC(ベンチャーキャピタル)メンター5名^{※3}、スペースパートナー1社^{※4}、運営協力企業3社^{※5}と共に支援してきました。

当日、登壇企業各社は、プレゼンテーション7分間、審査員からの質疑応答12分間の持ち時間で、ピッチセッションを実施。審査の結果、最優秀賞に選ばれたスタートアップには支援金100万円が授与されました。

また、今回は弊社よりご招待させていただいた企業・自治体等200名を超える皆様にご来場のお申し込みいただき、大変盛況な発表会となりました。本プログラム(第3期)はこの成果発表をもって終了となりますが、MURCは引き続き3期生と接点を持ちながら、今後もサポートして参ります。

※1 三菱電機株式会社、三谷産業株式会社

※2 会津若松市、青森県、AIDOR(大阪市)、河内長野市、北九州市、気仙沼市、鯖江市、仙台市、滝沢市、フクオカベンチャーマーケット(福岡県)、矢巾町

※3 田島 聡一 氏(株式会社ジェネシア・ベンチャーズ 代表取締役)

中嶋 淳 氏(アーキタイプ株式会社 代表取締役 CEO)

山田 優大 氏(Full Commit Partners 代表パートナー)

山中 礼二 氏(KIBOW インパクト・インベストメント・チーム インベストメント・プロフェッショナル)

堂前 泰志 氏(三菱UFJキャピタル株式会社 投資第一部 副部長)

※4 東急不動産株式会社

※5 三菱UFJ銀行、三菱UFJキャピタル株式会社、Japan Digital Design 株式会社



登壇企業の皆さんと審査委員

■ 審査委員について

【審査委員長】 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 代表取締役社長 村林 聡

【審査委員】 三菱電機株式会社 未来イノベーションセンター グループマネージャ 山中 聡 氏

三谷産業株式会社 代表取締役社長 三谷 忠照 氏

STRIVE 代表パートナー 堤 達生 氏

株式会社ジェネシア・ベンチャーズ 代表取締役 田島 聡一 氏

Full Commit Partners 代表パートナー 山田 優大 氏

三菱UFJキャピタル株式会社 投資第一部 副部長 堂前 泰志 氏



左から:山田氏、堤氏、三谷氏、佐伯氏(クアンド社 CFO)、村林、下岡氏(クアンド社 CEO)、山中氏、田島氏、堂前氏

■ スペシャルトークセッション「縄文ピーポーが世界を変える！」

当日は、スタートアップによるピッチだけでなく、第2期まで LEAP DAY における司会・進行をご担当頂いた谷中修吾 氏^{※6}、第2期 LEAP OVER にて優秀賞を獲得した CI Inc. CEO 園田 正樹 氏^{※7}を招いて、スペシャルトークセッションを開催しました。

谷中氏の著書「最強の縄文型ビジネス イノベーションを生み出す4つの原則」の内容も踏まえながら、1万年を超える縄文時代の叡智をビジネスにいかにかに生かすか、縄文型ビジネスと現代のイノベーターの共通項は何か、弥生型ビジネスと縄文型ビジネスの二項対立と融合について、最前線の実感値も交えながらディスカッションを行っていただきました。

※6 谷中 修吾 氏 一般社団法人 INSPIRE 代表理事 / 総合プロデューサー

※7 園田 正樹 氏 Connected Industries 株式会社, CI Inc. CEO / 産婦人科医



左:谷中氏、右:園田氏